

令和6年度第2回八戸市青少年問題協議会会議録

日 時：令和7年2月13日（木）午前10時

場 所：八戸市庁別館2階会議室C

出席者：委員14名

竹花会長、横濱副会長、齋藤教育長、小橋委員、滝尻委員、小笠原委員、
田中委員、吉岡委員、高橋委員、田邊委員、田名部委員、平野委員、
田島委員、富岡委員

幹事2名

伊藤幹事、竹内幹事

事務局：8名

八木田教育部長、寺井教育部次長、三津谷教育指導課長、石澤青少年GL、
小山内副参事、松倉副参事、宮武主幹、竹井主任指導主事

会議内容：下記のとおり

（司会：石澤）

本日はお忙しい中、御出席いただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。次第、名簿、席図、「資料1 令和6年度青少年健全育成の活動提言内容の取組状況」、「資料2 令和6年度青少年健全育成の活動提言」、「資料3 令和7年度青少年健全育成の活動提言（案）」、最後に八戸警察署からの資料「令和6年中の八戸警察署内の少年非行概況」と「10代のみなさんへ」という白黒のチラシ。御確認いただければと思います。不足等ある場合、事務局へお知らせください。よろしいでしょうか。

そそれではただ今から、令和6年度第2回八戸市青少年問題協議会を開会いたします。

なお、本日の協議会は、11時20分頃の終了を予定しておりますので、御協力をお願いいたします。

（司会：石澤）

続きまして、本日御出席の委員及び幹事の皆様を御紹介いたします。

八戸市教育委員会 教育長 齋藤信哉でございます。

八戸市社会福祉協議会 常務理事 小橋和志 様

八戸青年会議所 直前理事長 滝尻善友 様

八戸市連合父母と教師の会 副会長 小笠原光佑 様

当協議会の会長であります、

八戸市小学校長会 八戸市立多賀台小学校 校長 竹花剛二 様

当協議会の副会長であります、

八戸市中学校長会 八戸市立東中学校 校長 横濱由紀 様

八戸地区保護司会 副会長 田中正子 様

八戸市青少年生活指導協議会連合会 副会長 吉岡義久 様

八戸市少年団体活動振興協議会 理事 高橋昌樹 様

八戸市民生委員児童委員協議会 会計 田邊伸子 様

八戸市スポーツ協会 副会長 田名部和彦 様

八戸地区連合防犯協会 八戸地区連合防犯女性部長 平野悦子 様

三八地区高等学校生徒指導部会 部会長 田島博文 様

八戸市青少年健全育成「愛の一声」市民会議 実行委員 富岡節子 様

八戸警察署 生活安全課長 伊藤哲也 様
三八地域県民局地域健康福祉部こども相談総室 総括主幹 竹内純子 様

次に、教育委員会の出席者を紹介いたします。

教育部長 八木田満彦でございます。

教育部次長 寺井健司でございます。

教育指導課長 三津谷喜美典でございます。

次に、八戸市長から御挨拶を申し上げます。

(八木田部長)

ただ今、司会からも御紹介ありましたように、熊谷市長でございますが、本日、市外へ公務のため出ており、本日の会議への出席ができませんでした。

挨拶文を預かってまいりましたので、代読をさせていただきます。

八戸市青少年問題協議会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から、青少年の健全育成に御尽力いただくとともに、当市の教育行政に対し、それぞれの専門的立場から、御指導、御助言を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、昨今の青少年問題に目を向けますと、家庭においては、子どもの貧困や児童虐待等の問題があるほか、学校においては、いじめの問題や、不登校への対応等が、ますます複雑化・多様化している状況にあります。

また、スマートフォン等の普及に伴い、長時間の使用による生活リズムの乱れやゲームへの課金問題、SNS等の不適切な利用によるトラブルを始め、犯罪に巻き込まれるなどの事案も発生しているところであります。

このような中、本市では、本協議会の委員・幹事である関係行政機関の職員や学識経験者の皆様からの御意見をいただきながら、活動提言にもあります、「地域の子どもたちを地域で育てる」という理念の下、青少年の健全育成に取り組んでいるところであります。

特に今年度は、いじめの背景が複雑多様化する中において、子どもが安心して学校生活を送り、学ぶことができる環境を実現するため、「八戸市いじめ防止対策推進条例」を制定し、本年1月1日から施行いたしました。

この条例は、いじめの防止等についての基本理念を定めたもので、市、教育委員会、市立学校、市立学校の教職員、保護者の責務等を明らかにし、市の施策に関する基本的な事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的としたものであり、市民総掛かりで、いじめ問題の克服に取り組んでまいりたいと考えております。

将来の八戸市を担う青少年を健やかに育み、生命や自然を大切にす心、善悪の判断ができる規範意識、倫理観、他人を思いやる優しさ、社会性などを育てることは、私たち大人の責務であります。

市といたしましては、当市の次の時代を担う青少年の健やかな成長のため、学校・家庭・地域社会・関係機関が緊密に連携しながら、社会全体で青少年の健全育成の推進に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様には、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。令和7年2月13日、八戸市長 熊谷雄一、代読でございました。

(司会：石澤)

それでは、議事に入らせていただきます。八戸市青少年問題協議会運営規程第2条により、議長は会長が務めることとなっております。なお、本日の出席委員は14名で、委員数16名の過半数を超え、定足数を満たしておりますので、会議が成立することを御報告いたします。

それでは、竹花会長、よろしく願いいたします。

(竹花会長)

議長を務めさせていただきます竹花でございます。

よろしくお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

まず、資料1の「令和6年度青少年健全育成の活動提言内容の取組状況」について、事務局から説明をお願いします。

(三津谷課長)

当協議会の事務局を担当しております教育指導課の三津谷と申します。

よろしくお願いいたします。

それでは、資料に基づきまして「令和6年度青少年健全育成の活動提言内容の取組状況」につきまして、ご報告いたします。時間の都合もございますので、主な取組について、ご報告させていただきます。

お手元にあります「資料1」をご覧ください。

1 ページ目の、提言1の「『さわやか 八戸 あいさつ運動』の展開」でございますが、市立各小・中学校におきましては、各学校単位の活動のほか、中学校区の小学生と中学生が合同で行うあいさつ運動や、地域団体と連携した活動などが行われております。併せて、「履き物を揃える運動」、「ゴミ拾い運動」も、この活動の一環として行われております。

2 ページをお開きください。

2の「青少年の健全育成の基盤となる『地域コミュニティ』の形成」につきましては、様々な特色ある取組が実施されております。

(1)の「家庭や地域を巻き込んだ社会体験学習の展開」につきましては、各学校において、親子学習会や地域の方を講師として招いての体験学習など、家庭や地域社会と連携した活動や行事が実施されております。

(2)の「青少年の地域ボランティア活動への参加の推進」については、中学校18校と高校14校の生徒、合わせて2,567名がボランティア登録しており、公民館まつり、はちのへ郷土かるた大会、成人式など、様々なイベントや地域活動において自ら参加し、社会奉仕活動に取り組んでおります。

(4)の「子どもをサポートするための地域・関係機関などと連携した活動の充実」につきましては、地区諸団体やPTA等と連携した巡視活動、登下校での見守り活動、通学路の危険箇所の点検などが行われており、地域が一体となって、子どもの安全確保や健全育成に取り組んでいただいております。

続きまして、3 ページをご覧ください。

3の「健全な家庭づくりへの支援」についての取組といたしましては、(1)から(3)までの取組は、市のすくすく親子健康課やこども未来課が、赤ちゃんや幼児とその保護者のサポートのための講座や健康相談などの活動を行っております。

3 ページの後半部分から4 ページにかけての(4)の「家庭での読書推進を図り、豊かな心を育む」につきましては、市内の各図書館で毎週のおはなし会のほか、季節ごとのおはなし会などが行われております。

また、教育指導課が実施している「マイブック推進事業」でございますが、この事業は、小学生が書店に出かけ、自ら本を選び、購入する体験を通し、読書に親しむ環境づくりの事業であり、今年度のマイブッククーポンの配布人数は、10,304人で、使用した児童の割合は、99.3%となっており、多くの小学生がマイブックを手にしております。

次に5 ページをお開きください。

前半部分の(5)の「関係機関の広報啓発活動の充実」につきましては、各学校では、学校だよりや学年だより等により、健全な家庭づくりの意識啓発や情報提供を行っているほか、各種講

演会の開催や各種強化週間といった取組も行っております。

続く「4 体験活動の推進」につきましては、5ページから8ページの前半にわたって取組を掲載しております。児童科学館、博物館、是川縄文館、八戸公園などの各施設が、それぞれ特徴的な取組をしており、多くの子どもたちに楽しく学べる体験的な機会を提供しております。

続きまして、提言内容5の「今日的な課題への適切な対応」につきましては、8ページから10ページにわたって取組を掲載しております。

(1) いのちの教育を含めた「生き方に関する指導」の充実につきましては、各学校において、生き方に関する様々な講話・講演会等を開催するなどし、子どもたちに生き方について考える機会となるような取組を行っております。

(2) 家庭支援や虐待防止への取組の充実につきましては、研修会の開催や啓発活動の実施のほか、各種相談など相談者に対する支援を行っております。

(3) 「万引きやインターネットトラブル、喫煙、薬物乱用問題等への対応の充実」につきましては、リトルJUMPチームやJUMPチームによる万引き防止のための啓発活動や、市教育委員会では、ネット情報モラル支援事業として、各学校が児童生徒や保護者・教職員等を対象に開催するネット情報モラル教室等に講師を派遣し、児童生徒の安全なインターネット利用や情報活用能力の向上を目指す取組などを行っております。

続きまして、9ページをご覧ください。

(4) の「登下校時をはじめとする子どもたちの安全確保の充実」につきましては、通学路の安全点検や危険箇所の確認、地区防犯協会をはじめとした地域の方々による見守り、避難訓練や八戸警察署職員による講話などにより、子供たちの安全確保に取り組んでおります。

(5) の「いじめ問題の解決に向けた取組の充実」につきましては、先ほどの市長からのあいさつの中にもございましたが、市では、「八戸市いじめ防止対策推進条例」を令和7年1月1日に施行いたしました。

この条例は、いじめの防止等についての基本理念を定め、市、教育委員会、市立学校、市立学校の教職員、保護者の責務等を明らかにし、市の施策に関する基本的な事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とするものでございます。

市では、いじめ問題の克服のために、本条例に基づき、学校、保護者、市民等及び関係機関との連携の下、いじめの防止、早期発見、いじめへの対処など、いじめの防止等のための対策に取り組んでまいりますので、関係機関の皆様におかれましては、御理解と御協力くださいますようお願いいたします。

また、市では、「いじめ問題等に関する対話集会」を開催し、児童がいじめ防止に向けた取組について話し合ったほか、各学校では、『いじめゼロに向けた行動目標マイアクション8（エイト）』を活用し、いじめ防止に取り組んでおります。

各学校においては、学校いじめ防止基本方針に基づく、いじめ防止等対策委員会を中心に、いじめの防止推進と、いじめの問題に対しては組織的な対応を行っているほか、いじめの早期発見のためのアンケート実施やスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの活用等で相談体制の充実を図っております。

以上で「令和6年度 青少年健全育成の活動提言内容の取組状況」についての説明を終わります。

(竹花会長)

ただいま、教育指導課長から活動提言内容の取組状況について 説明がありましたが、不明な点など御質問はございませんでしょうか。

無いようですので、次の案件に移ります。

「令和7年度青少年健全育成の活動提言（案）」について、事務局から説明願います。

(三津谷課長)

それでは、「青少年健全育成の活動提言」について、ご説明いたします。お手元の、資料2は、「令和6年度青少年健全育成の活動提言」となっております。

資料3の「令和7年度青少年健全育成の活動提言(案)」をご覧ください。こちらは、令和6年度からの変更箇所を赤色の見え消しで記載しておりますので、変更箇所についてのみ、ご説明いたします。

2ページをご覧ください。

4の期間につきましては、令和7年4月1日から令和8年3月31日までとなります。

次に、4ページをご覧ください。

5「今日的な課題への適切な対応」の(4)の②につきましては、今年度の活動提言では、新たに導入したコミュニティ・スクールを活用して活動体制の充実を図るとしておりましたが、活動体制が整ったことから、来年度は、この仕組みを生かして、取組を進めていくこととし、資料のとおり内容を変更することといたしました。

(5)の①につきましては、「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえた、「八戸市いじめ防止対策推進条例」が施行され、社会全体でいじめ防止等の対策を進めていくこととしていることから、資料のとおり内容を変更することといたしました。

以上で、「令和7年度の青少年健全育成の活動提言(案)」の説明を終わります。

(竹花会長)

ただいま、教育指導課長から令和7年度の青少年健全育成の活動提言(案)について説明がりましたが、御意見等ございませんでしょうか。

意見がないようですので、令和7年度の活動提言は、原案のとおりといたします。

それでは案件を終了いたしまして、次に情報交換に移ります。皆様にお渡しした資料を見て気になったこと、普段青少年と触れて感じている事、また皆さんの団体で今年度実施した活動や今後の活動予定、団体のPRでもよろしいです。それでは席順にそって順番にお話頂ければと思います。それでは最初に小橋様、よろしく願いいたします。

(小橋委員)

はい。私の方では、去年、ある生徒さんがボランティアをしたいということで、当部に来たことがあります。それを受けまして、まだ監護が必要な年齢ですので、家族にも連絡をしながら、どういうボランティアをしたいのか施設とかと連絡を取りながら、紹介したり出来ましたので、当協議会としても役に立てて良かったと思っております。一般論で私どもは、青少年の方を対象とするケースは少ないですが、一般的に生活に困難を抱えている方の共通点としましては、社会との関係が切れているというのがございます。ただ、この生徒さんのように、自らつながりを持ってくるというのは、非常にいろいろな選択肢、支援先が増えてきますので、非常に良いことだったと思っております。以上でございます。

(竹花会長)

ありがとうございました。それでは続きまして滝尻様お願いいたします。

(滝尻委員)

はい。お疲れ様でございます。八戸青年会議所では、青少年の健全な育成というところに関しては、昨年度、八戸青年会議所が企画し、市庁前で子供たちが自分たちで考えたパンを商品にして、皆様の手元に届くという活動をさせていただきました。こちらは、協力していただいた皆様のおかげで、子供たちがゼロから作りあげたパンという作り上げたものがしっかりと自分たちの考えのもと、しっかりと商品となって実際に手元に届くところを通して、親と子のコミュニケーション、地域の大人とのコミュニケーションを構築すべく実施させていただきました。

また、八戸青年会議所では、後続的にわんぱく相撲の方に力を注いでおりますが、昨年はこの三八地区から2年連続で女子相撲の日本一の横綱が生まれております。そのこともありまして、

昨年度八戸青年会議所でわんぱく相撲の女子の全国大会というものに手を上げました。おかげさまで招致が成功いたしまして、本年度令和7年9月21日に第6回わんぱく相撲女子全国大会がこの八戸の地で開催される予定になっております。全国のトーナメントを勝ち抜いてきた女子相撲の選手およそ250名から300名及びその関係者約3,000人ほどがこの八戸に集うことになっております。こちらは、八戸市の皆様方とも協力しながら進めていきたいと思っています。9月21日に予定をしておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。以上です。

(竹花会長)

はい。ありがとうございました。では続きまして小笠原様お願いいたします。

(小笠原委員)

はい。八戸市連合PTAの小笠原でございます。当会では、各種PTA関係に関する企画、運営を行っておりますが、昨年の10月23日には、小学校のお話弁論大会を類家の八戸市福祉公民館で開催しました。また、11月5日には中学校のお話弁論大会を鮫中学校で開催するなど各種取り組んでいる状況でございます。話の中でもコミュニティ・スクールが今年運用されてきたということで、私の単位PTAでも、地域との連携という部分について、地域の力を教育活動に取り入れるところにすごく重きを置くことができまして、防災教育であったり、地域のイベントの中に生徒がボランティア活動に自ら参加するということと非常に効果があったのではないかなと感じております。これによって、子供たちも相手に思いやりのある心を持ったり、社会へなじむようになってくると思っております。一方でコロナ渦以降、不登校が増えているという現状がございます。この件に関しては、引き続きではありますが、先生の働き方改革、こういった部分にも市連Pとしても協力しながら先生と子どもがしっかり向き合える時間を作り上げていくことがまさに青少年の健全育成につながるものと考え、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。以上です。

(竹花会長)

ありがとうございました。それでは続いて横濱様お願いいたします。

(横濱委員)

はい。中学校長会です。簡単に現在の様子をお知らせいたします。中学校では、各校において進級及び進学に向けた取り組みが主なものになっております。1年生は希望式、2年生は立志式、3年生は高校進学に向けた受験というところが大きな取り組みになっております。とりあえず、明日14日が私立高校の合格発表となっております。そして来月の6日が県立高校の受験日となっております。最後ひと踏ん張り頑張らせたいところであり、心配な所としては、コロナ・インフルエンザの感染が懸念される場所でもあります。全員が希望高校へ無事受験そして合格出来ればと祈るばかりです。最後に平日頃より交通安全や防犯また自然災害、熊への対応など多岐にわたり声掛けや見守り等各学校区を中心にしていただき感謝しております。この場を借りて改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。以上です。

(竹花会長)

はい。ありがとうございます。続きまして田中様お願いします。

(田中委員)

保護司会の田中正子です。よろしく申し上げます。私は、個人的なことに触れることになると思うのですが、この会議に参加して、今までは縦のつながりという会合がとて多かったです。この会議を通じて横のつながりの大切さというのを本当に感じる事がございました。

去年の11月にある17歳の女の子を担当しました。それは、無免許の交通違反だったのですが、月2回お会いしてその子と会って交通違反とか大きな怪我がなくて良かったねとかたわいもない話をして2・3か月過ぎてきて、3・4か月の頃からぼつぼつ話すことも無くなりましたが、その子は、ただただ車が好きで車の話をしてくれて、やっぱり免許を取るの大事だよ、とかそういう話をしていたのですが、ある時に会う時間に遅れてきたんです。ちょっと10分15分待っ

ていても来なくて、また連絡して次の日に会うことにして、どういう状況だったのかとお話聞いたら、お家から泣いておばあちゃんの所に行っていたということでした。どうして、ということで本人が話始めたのですが、自分が2歳くらいの時からずっとお父さんとお母さんが喧嘩すると私を殴るといふか、いじめたんだ、だから、自分は怖くておばあちゃんの所へ預けられたり、色々したんだけど大きくなってからは、自分は逃げることを覚えて、お家から外に出て、そして補導されたことが何回もあるんだ、という話をしてくれるようになりました。お父さんとは1回も会ってないですけども、お母さんとはお会いして、本当に気さくな優しいお母さんでしたが、交通違反の対象者だったのですが、話を聞いていくとこれは凄く深いなと思ひましているいろいろな話を聞いて、その子が18歳になりました。

話はちょっと前後しますが、特待生としてある学校に入って、そこでやっぱりちょっと態度が悪くて高校辞めまして、定時制通信教育を受けていました。今もその当時も学校には一生懸命行っていましたし、書類なども出してしまひて高校卒業するのを楽しみにしていました。そして、18歳になってお母さんから独立したいという話をしている矢先だったのですが、お父さんとお母さんが離婚する事になりまして、お母さんと一緒にアパート借りて住むということになりまして、今は凄くもう卒業を間近に控えて私の手元からも離れたのですが、頑張っていると思ひます。

段取りが少し悪くなりましたが、私の言いたかったのは、交通違反で知り合った子でしたが、結局はもっと違う虐待とかそういうところまでになっている、うわべだけじゃないいろいろな深い意味があるというのを感じまして、このようにいろいろな皆様とお会いしていろいろな関係機関があるということを知ることができ、良かったと思ひています。終わります。

(竹花会長)

ありがとうございました。それでは続いて伊藤様お願いします。

(伊藤幹事)

八戸警察署の伊藤です。よろしくお祈ひします。お手元の資料をちょっと見て頂けたらと思ひます。令和6年中の管内の少年非行の概況ということでお渡ししております。これを見ていただいて、ひとつ知って欲しいことがあります。中段のところの刑法犯少年の罪種別で一番多いのが万引きというこおで、前年中令和6年までで1件増となっております。これは、警察で認知して検挙なり補導した数がこれだけ、16で県内ワーストです。17警察署の中でワーストの記録となっております。この中でさらに特筆すべきが16人中14名が小学生だったということで、犯罪の低年齢化というところが非常に問題なのかなと思ひしております。各小中学校では、JUMPチーム、リトルJUMPチームが非行防止活動の輪を広げていただいておりますし、万引き防止を呼びかけしていただいている状況にはあるのですが、その中で特に小学生が多い、高校生は無かった、あとは中学生ですが、ここを今抑えていかないと将来どんどん悪くなる傾向にあると思ひます。このような実態にあるということをも先知っておいていただきたいと思ひます。

小学生であれば、触法少年ということで刑事罰は科されないのですが、これが常態化していけば当然大人になっても万引きなり、大きな犯罪に手を染めるというところにつながっていく可能性がありますので、今のうちに止めておかなければというところが懸念されます。これは、あくまでも警察が認知した数が16で、氷山の一角である可能性があります。これより多くの子供たちが犯罪に手を染めている可能性が有りますので、そういう実態を先把握していただきたい。

その中でどういう所で起っているのかということ、コンビニが5割を超えています。万引きの中でコンビニが5割を超えており、どんな物を取っているかということと食料品が半分弱位ということで、子供たちが食べ物をもめて万引きをしているということが見て取れると思ひます。このような状況にありますので、警察では日々の勤務の中で交番や駐在所では、当然コンビニやスーパーなどを警戒しています。昨年は、長期休業中夏休み冬休みなど、そういう期間を重点的に犯罪が予想される店舗での警戒をさせていただきますし、今後も春休みになればそのようなこ

とも計画しております。さらにこういう状況にあるということで、少年警察ボランティアの方々が、小学校に出向いて子供たちの対話集会を開いて万引きをすればどうなるのか、万引きをするとどういうことにつながるのか、ということをお話させていただいています。さらに、ボランティアの方々にもお願いをして、コンビニのほうにも警戒ということで立ち寄りをさせていただいています。そういう活動もさせていただいておりますので、地域の皆さんが、まず子供に犯罪をさせない、できない環境にする、さらには犯罪に手を染めないように、守っていきたいということで活動しておりますので、そういう活動が行われているということをご認識いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

この資料は、後ほど中身を見ていただければと思います。暫定値ですので、確定値が出れば数値が変わるかもしれませんが、概ねこの内容であるということをご認識いただければと思います。

そしてもう一つ、十代の皆さんへというチラシですが、社会的問題となっておりますいわゆる闇バイトと称する犯罪、これが国内では横行されているということです。私の知る限り八戸警察管内では、このような事案はないのですが、このような事案にはまってしまつて抜けられない子がいるかもしれません。アルバイトという名の元の犯罪ですので、楽してお金を稼げると思つて、SNSで知り合った人とやり取りをして個人情報や渡したがために犯罪グループに巻き込まれ抜けられなくなるとか、先輩や仲間に誘われてとか、さまざまこういう犯罪に巻き込まれる可能性があります。特に中学生高校生の年齢は、こういうものに巻き込まれる可能性があるかと思ひます。子供たちは、当たり前スマートフォンを使ってSNSを利用してさまざまな交流を図っているというのは周知の事実ですが、このような犯罪に手を染めてしまう可能性もあるということをご認識していただきながら、指導や活動に活かしていただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。ちなみに今日の新聞に、闇バイトで大麻を密輸して50代の男性が逮捕されたという記事が載つていたと思ひます。闇バイトは、子供たちだけの問題ではありません。大人でもお金の困つて楽をして稼げるといふ名のもとで、はまってしまい犯罪者として捕まってしまう可能性があるということについてもご認識していただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。警察からは、以上です。

(竹花会長)

ありがとうございました。続きまして竹内様お願ひいたします。

(竹内幹事)

八戸児童相談所の竹内と申します。児童相談所では、主に愛護手帳の判定や障害の相談が4割から5割くらい。あとは、主には虐待通告の案件を扱つていて、そちらのほうも4割から5割に近い件数を扱つています。それ以外にも非行、今お話があつたような万引き等の案件で児童相談所に通告が来るお子さんもいますし、家庭内暴力の問題も最近増えてきているという印象があります。その中でも特に虐待に関しては、毎年新聞などでも報道されていますが、年々通告の件数が増えている状況で、昨年度は年間776件対応をしておりますが、今年度はそれ以上のペースで通告が入つていて、日々各学校さんだったり、子供さんの通つている保育園幼稚園だったり、そのようなところで怪我をしているということをご認知した場合は、お伺ひさせていただいてお話を聞かせていただいたり、たいぶご協力をいただいているところでした。そのような話を聞く機会も多い方たちの集まつている場所でもあるかと思ひますので、そのような虐待のお話を聞いた場合、ご家庭から離れる道もあるのではないかと、聞くだけで解決できないような深刻な状況ではないかと思ひするような場合は、児童相談所、お住まいの管轄、ここであれば八戸市の方の相談室へぜひ相談、通告をしていただいて、そこをとっかかりにご家庭の関わり方の改善につながればいかと思ひているところです。

話を聞いてあげるといふことも、その子自身にとってはすごく助けになるという場合があるのですが、つい最近もあつたことなのですが、1か所顔にちょっとした傷があるというだけでお

話を聞いていっても、実際児童相談所でお会いしてお話を聞いて、体も確認しようねということで確認したら、見えないところにあちこちあざがあったということも現実に起きています。八戸市内のお子さんだったりします。そういうことを直接できるのが児童相談所の役割であって、そこより前の段階のお話をいろいろ聞いてくださったり子供たちがSOSを出しやすいような環境を整えて下さるのが、ここに来ていただいている広く子供たちに関わる団体の方々、そこで働いている皆様方になると思いますので、そういうSOSをキャッチした際には、ぜひ通告等という形でご協力いただければと思います。よろしくをお願いします。

(竹花会長)

ありがとうございます。では続きまして富岡様お願いいたします。

(富岡委員)

私は、青少協として活動していきまして、資料1にあるあいさつ運動、これは始まった当時から地域の学校のあいさつ運動に出ています。つい先日、第二火曜日は休みだったので水曜日に学校に出向いてあいさつ運動をいたしました。その際にごみ拾いをします。学校の前の所の両側の歩道を修理していますので、混雑がありますし、登校時と下校時、登校時はまだ作業は始まっていませんが歩道は歩けなかったりするので、その誘導に1週間出て活動しながらごみ拾いをしたりしています。

次のページの資料2のところ、これも私、個人のことでありますが、家庭と地域の体験学習という形で学校からの依頼もありまして、コロナの期間は休みましたけれども豆しとぎの先生をしていきまして、触れ合いを楽しんでいます。私自らも楽しんでいます、お子さんたちも食べたことが無い、作ったことが無いということで、大騒ぎでやって触れ合いをしています。

また、4のところですが、先ほど言いました通学路の危険地域の点検や安全補導ということで、先ほど言いましたように工事中ですので、工事作業員の早く出てきている方も声をかけてくださったりして、一生懸命子供たちを守っています。

ニュースポーツのほうも小中学校との触れ合いを持ちまして、私の趣味もありましてグランドゴルフをやっています、去年の9月か10月、国体にも出て青森県として入賞して5位になってきました。そういう触れ合いが私の趣味も兼ねていきまして、小学校の児童館と中学校の部活動としてニュースポーツのグランドゴルフをして、子供たちと触れ合いをして、子供たちからなんでも話を聞き入れたい、あのときの豆しとぎのおばちゃんだとか、おばちゃんグラウンドゴルフ僕と一緒にやったよね、私もやったよとか、そういうことからいろいろな話を子どもたちから聞き入れて学校のこと家庭のこと地域のこと聞き入れるように話の触れ合いをしながら活動をしています。子供たちとの機会を作ることを心掛けて触れ合いを楽しんでいます。以上です。

(竹花会長)

ありがとうございます。続きまして田島様お願いいたします。

(田島委員)

それでは、活動提言の提言内容の2の(2)に青少年のボランティア活動の拡充というのが継続して盛り込まれていますので、その点について思うところをお話したいと思います。

資料1の2ページのほうにボランティアの参加人数、中学生高校生別に人数も載っております。中学生が600名ほどで高校生が1,900名ちょっとになっているかと思います。ボランティア活動は中学生と高校生が出会う場になればと思っています。その意味においては、中学生と高校生の参加人数が近いものになるのが理想なのかなと思います、実際のところ発達段階も違いますので同時募集ということも少ないのかなと思いますので、同じような数になるのは難しいということは了解しています。中学生と高校生が出会う場になって中学生が高校生を見て自分もこういう高校生になりたいなと自分の姿と高校生の姿を重ねてみるような機会があれば、それはキャリア教育だと思っています。キャリア教育が進んで、子供たちのキャリアデザイン力が高まればその分、生徒指導や生活指導がなくなっていった健全育成につながるだろうと思っています。

ます。中学生と高校生と一緒に成長する機会というもの、ボランティア活動になっていけばいいと思っています。

高校生が中学校に呼んでもらって学校を説明するという機会を設けてくださっている中学校さんもありますし、夏休みに中学生に高校に来てもらって見学をしてもらうという機会も設定はしておりますが、一番必要なことというのは、学校の外や地域で中学生と高校生と一緒に活動する場面が確保されることなのだと思います。私は、県立高校を担当しておりますが、八戸市立や青森県立、私立など行政上の区分別を超えてボランティア活動の場というのが一番優れていると思っています。

高校生が中学生を良い方向、好ましい方向に引き付ける力も必要ですので、高校側の努力が課題だと思いますが、できれば高校生と中学生同時募集になるようなボランティア活動の機会が拡充されればいいのかと思います。以上です。

(竹花会長)

ありがとうございました。続きまして平野様お願いいたします。

(平野委員)

八戸地区連合防犯協会防犯指導隊女性部の平野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

八戸地区の連合防犯協会には防犯指導隊が36支隊、女性部が23支隊ありまして、それぞれの地区からさまざまな行事等に要請があれば出動しています。ほとんどの私たちの仕事は、制服姿で行います。2人以上で活動してくださいということです、一人での活動は禁止となっております。あとは、八戸市も階上町でも実施されておりますが、小中学生の登下校の見守り、それはずっと続けていますし、はちのへ公園春まつりでも、ここのところ毎年防犯指導隊女性部に要請がありまして、防犯音頭を躍らせていただいております。その時に早めに行きまして、公園内を見守り活動し、チラシ等を配布して子供さん、お母さんたちと触れ合いを少しの時間持たせていただいております。活動はたくさんありますが、今日は今年始めて行われました行事をひとつお知らせしたいと思います。

今年の令和7年1月9日に八戸駅で受験期における痴漢対策訓練及び広報活動というのがありまして、それに防犯指導隊女性部にも応援の声がかかりまして参加させていただきました。初めてでしたので、どんな訓練なのかと思って八戸駅に行きました。そうしましたら、主催者は、JR東日本、青い森鉄道、八戸警察署、私たち防犯ボランティア、その方たちで行いました。人数は25名以上、それくらいあったと思います。青い森鉄道の乗り場のほうに移動しまして、最初はということするかと思って、私たちはボランティアでしたので隅の方で見させてもらいました。実際訓練に入りましたら犯人役の方、被害者の方、警察官、乗客の方、後ろに名前をつけていまして、最初は遠慮して隅の方で見えていましたが、だんだん前の方に行って見せてもらいました。触った触らないと犯人と警察官でやりあって、俺はやってない、やっただろうというような話をしている、訓練でしたけど物々しいところを見せてもらいました。訓練でしたので、乗客は乗っていないところでの実施となりました。どうしてこういう訓練をされたかということ、SNS上で痴漢の事犯を煽って痴漢を促す内容の不適切な書き込みが行われていることが多いそうです。それで、受験生に安心感を与えることができるようにということで今年初めてこの訓練をしたそうです。私たちは、横断幕を持ってご協力をよろしくお願ひしますということや、チラシ等を配布して声かけをしたりしました。こういうことがなくなればいいと思っています。

こちらのチラシにもありますとおり、SNSは大変怖いものです。さまざまな被害がありますので、今年初めてこちらを実施しました。以上です。

(竹花会長)

ありがとうございました。続きまして田名部様お願いいたします。

(田名部委員)

八戸市スポーツ協会の田名部です。よろしくお願ひします。

八戸市スポーツ協会のいろいろな施策としては、大人を対象にしたスポーツ大会が中心であります。本年度大きな大会としては、北奥羽総合体育大会が八戸市を主会場に開催されました。北奥羽は十和田市、三沢市、むつ市、三戸郡、上北郡、それから岩手県からも久慈市、九戸郡二戸地区、秋田県からも鹿角市などが参加する大会であります。陸上競技をはじめ、19種目に熱戦が展開されました。そのほか、八戸市内のスポーツ大会としては、毎年開催されていますが、八戸市総合スポーツ大会、各地区対抗ないし各地区の体育振興会が選手を選出して15種目に競技をする大会であります。

あと私が所属しています青森県スケート連盟の施策を少し紹介したいと思います。県スケート連盟といっても八戸市が中心であります。県の小学校1年生から6年生を中心とする県スポーツ少年団のスケート競技会、これもすでに終わっておりますが、男女15種目に熱戦が展開されました。そのほか、長根小学生スピードスケート交歓競技会ということで、これはずっと昔からやっているんですが、栃木県日光の選手、それから最近は岩手県の選手、秋田県の選手が八戸市のアイスアリーナに集まって、それぞれ競技をするわけですが、競技終了後、小学生たちの交歓会がありまして、いろんなペナントの交歓など、ほほえましい光景がみられました。あと八戸市のスポーツ振興課の計らいで、数年前から氷都八戸パワーアッププロジェクト事業というのを推進しております。毎年実施しています。主な内容としては、小学生対象のYSアリーナがオープンしてからのスケート教室ですが、1シーズン土日祝日を挟んで8回やりました。参加者たくさんいますので、150人で足切りしてやるわけですが、参加者の中には、転勤族の子供さんが意外と多くて、せっかく氷都八戸、氷に近いところにある八戸に来たんだから子供にはスケートを習わせたいという親御さんがいて、転勤族の子供たちが小学生対象のスケート教室に参加しています。

そのほかには、学校体育指導支援事業、これも八戸市のスポーツ振興課の計らいでやっておりますが、学校の先生方にはスケートの指導のプロはいないということで我々スケート連盟に指導者の派遣の要請がありまして、各小学校の授業時間ないしはそのような時間帯にフラット、新井田、YSアリーナの3か所でそれぞれの小学校がスケート教室を実施しているということになります。YSアリーナが出来て数年経つわけですが、我々にもいろいろな苦情というか色々入りまして、せっかく屋根付きのリンクができたのに八戸からは選手が一人も出ないスケート連盟は何をしているんだとお叱りの言葉などもいただいておりますが、こういう小学生のパワーアップ事業やスケート教室出身の中学生たちが今年長野で行われた大会で上位入賞しています。そういう点ではYSアリーナ出身というか、あそこから出た小中学生が徐々に育ってきているのかな、こういうふうになる材料としてとらえています。また、各小学校、中学校の子供さんたちが減ってきて、各スポーツ団体の選手が減っている、こういうふうには伺っていますが、幸いなことにスケート連盟では、小学生の登録選手が増えてきています。このような中からまた全国大会に入賞する選手が出てくればいいなと思っております。これからもよろしく、長い目で見ていただきたいと思います。

(竹花会長)

ありがとうございました。田邊様お願いいたします。

(田邊委員)

民生委員児童委員協議会の田邊です。この青少年健全育成では、児童委員のほうの活動になると思うのですが、それには市と学校との連携が大事だと思っております。市との連携でいえば、月1回各地区の会長が集まる会議に必ず市の福祉部の方が出向ってきて、いろいろと情報ももらっていますしヤングケアラーなどの地域でそういう派遣があったらという連絡もいただいています。

学校との連携でいいますと、地域学校連携協議会の委員には必ず民児協から入っていると思いますし、年1、2回地域によってなのですが民生委員と学校との情報交換会を持って個人名等を出して個々に見守るという体制を取っているところもありますので、各地区に広げていきたいと思っているところです。

主任児童委員の活動で、新入生の保護者説明会でチラシを配って新しく小学校中学校に入るお母さん、子供の環境の変化で困ったことがあったら、私たちは地域の相談の窓口ですよと紹介の時間をもらっています。

私たちは、そういう活動をしていますけれども、困っているとか不安に思っていることは、高齢者の一人暮らしの名簿や要支援者の名簿はもらうのですが、地域の子供の状況がいまいちつかめない。町内会に入る人も少ないし、子ども会が機能していないところもだんだん多くなってきて子供の情報がなかなか入りにくいというところで今困っています。以上です。

(竹花会長)

ありがとうございました。続きまして高橋様お願いいたします。

(高橋委員)

少年団体活動振興協議会の高橋です。どうぞよろしくお願いいたします。

私ども協議会については、ご承知の方も多いと思いますが、子ども会、それから海洋少年団、少年消防クラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト等の各団体が集って交流、それぞれの団体の交流、またお互いに高めていきたいと思いますという目的で作られている協議会でございます。

しかしながら、近年少子化等もございまして、ボーイスカウト、ガールスカウトは活動中止、あるいは停止という状況になってございます。残る3団体につきまして、少年消防クラブにつきましては、防火、防災に関わる研修、実際に防火体験などしながら消防活動なども経験するというようなこと、また各地域の少年消防クラブがございまして、そちらとの交流も含めた地域での活動を中心に実施しているところでございます。

また、海洋少年団につきましては、海難事故防止等について学ぶとともに、いわゆる海でのさまざまな活動ということでカヌー体験とかカッター、あるいは手旗信号などの体験をしながら海のことを理解するというようなことなどが中心に行われていると聞いております。

子ども会につきましては、目的団体というわけではありませんので、広く野外体験、木登り体験などを通じた自然体験活動を中心に子供たち同士の遊びを通じた交流などを含めて地域でさまざまな活動をしていく、そういう子供たちを担うというように活動をしているところでございます。

ご承知のとおり、各団体とも前のコロナ渦に比べると活動は正常化しましたが、どうしても参加する子供の数が少ないということもあって、新たな活動を生み出すというのは難しい状況です。また、指導者、育成者等も年齢進行によって高齢化ということもございまして、なかなか新たなことにチャレンジができない状況ではございますが、地域ごとにニーズがございまして、ぜひそのニーズをしっかりとくみ取って今後も活動を継続してまいりたいと思っております。

現在5団体の中でお互い交流しながら、そこに所属している子供たちをあちこちに配部などを行って体験させてみたいということを新年度に向けて考えていきたいと思っているところでございます。

別件になりまして、情報提供になるかわかりませんが、先月、文部科学省の担当課の方から来年度予算に向けての文科省の施策に関してご説明をいただく機会に恵まれて、その際に2点ほど引っかけたお話がございましたのでご紹介しておきたいと思っております。

まず1つ、今までに増して各地域に社会教育士を養成あるいは拡充したいという施策を持っているということを聞いてまいりました。これは、当市でも行っているコミュニティ・スクールにも関わってくる話かと思っております。社会教育士といえば地域の人と人、あるいは人と組織、あるいは組織と組織をつなぐ重要な役割をこれから担うであろうという方々になっていく

というふう聞いておりますので、こういうところに国が力を入れるということで地域にもこれから波及してくるのかなと感じています。加えて、我々のような地域で活動している人間、人材がそういうところにどういう形でコミットできるのかということもこれからは考えていけないのかなということで地域教育、社会教育を担っている団体の一人として気になるところだと思っていました。

もう1点、青少年教育を国が推進してから半世紀以上、100年近くというように言われるんでしょうけども、そういう状況の中、全国各地に設置された国立施設、残念ながら青森県この近辺になると岩手県の青年の家になるかと思うのですが、こういうところがかなり老朽化しているというような地元の要望、各地方からの要望を受けてここにつきまして大きな改善、改修のための予算措置を講じたいということなども出ておりました。ただその点に関しては一緒に聞いていた別の委員から、国だけではなく県や市の市立の施設もぜひ改修のための予算措置、補助事業などやってもらえないのかということも強く出まして、担当の方は持ち帰って検討をすることでの返答だったのですが、そのような意味でそういうところの充実、いわゆるハードの充実が大事だなという声も聞こえています。

幸い当市におきましては、県立の種差少年自然の家、あるいは八戸市の児童科学館、八戸公園、はっち、マチニワなど多数の素晴らしい施設がございますから、急にどうこうということはないと思いますが、将来に向けてそういう動きが出てきた場合に、私たち使用する側とすればいい施設に越したことはないので、ぜひそういうところも頭の中に入れておいていただけると大変うれしく思っております。以上でございます。ありがとうございました。

(竹花会長)

ありがとうございました。吉岡様お願いいたします。

(吉岡委員)

八戸市青少年生活指導協議会連合会の副会長をさせていただいております吉岡と申します。

一般的に青少協という名前でお聞きになっていると思うのですが、活動団体は、外郭団体がありまして、その部分で社会福祉協議会さんや民児協さん、子ども会の方、PTA会長、学校関係、その他町内会さんなどが一同に会して年に2回、夏休み前と冬休み前に地域の活動や八戸市内の情報はどうなっているのかという情報発信の場を提供しております。中には2か月に1回地域活動をしている地区もございます。青少協に関してはそういう活動で普段行っているのですが、私の場合は、新井田の大館に管轄がありまして、そちらのほうでは、大館地区の町内会連合会さんと自治振興会さんの活動が盛んで、そこで一緒に活動しております。小学校のほうでは、地域を知ろう、昔話やふるさとの歴史、どういう時代を歩んできたかということをお小生たちに教えます。中学生には、その次のステップ、大館新井田は新井田城まつりというのを10月に開催するのですが、その関係で中学生をふるさとゼミナールと名前を称して八戸工業大学の准教授の先生を講師に招いて、要はどういう活動をするかまつりやそういうところに参加をするかということをお、子供たちに、自分たちがキャラクターを作ってどのようなことをするか、ある程度のアバターなどのようなイメージを自分たちで作らせて、活動をしない人がどうすればまつりに参加するか、顔を出すか、そういうことを想像させながら地域の方に目を向けていけるような形で話を進める、そういう活動もしております。

課題としては、青少協、協議会での活動もそうなのですが、関係者の方は、情報はわかっているのですが、関係者以外の方はほとんど分かっていない。情報をなんとか地域の一般の方にも分かるように活動をしていかないといけないと思っています。以上でございます。

(竹花会長)

ありがとうございました。

八戸市小学校長会です。先ほど伊藤様からも小学生の万引きが増加しているという話がありました。校長会のほうでの情報交換の中でも、こちらの活動提言にある今日的な課題への適切な

対応という部分の情報、話題が今年度たくさん上がりました。子供たちの社会性や道徳性、人間関係の作り方など、そういうものを教えていかないといけないと校長会では、話をしています。

ただ、最近の子供たちは、一人の教師がたくさんの子供たちにそういうことを伝えても受け取り方が全然違って、なかなか染み入ってこないという話も聞いています。1対1で話をしているとすごく素直にしっかり大人の話も聞けるのだけど、集団になるとどうもなかなかうまくいかないという話も出ておりました。皆様方には、日頃から子供たちへの声掛けありがとうございます。これからも一人一人の大人の声掛けが子供達を育てていきますので、これからもどうぞよろしくをお願いします。

それでは、最後に齋藤教育長お願いいたします。

(齋藤委員)

まずは、皆様方にお礼を申し上げたいと思います。今日は、朝から足元の悪い中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。また、今各委員の皆様から貴重なご意見を賜りました。教育委員会といたしましても皆様方の様々な情報を元により一層子供たちのために邁進してまいりたいとそう考えております。

最後になりましたので、私のほうからも何点か皆様方に情報提供をさせていただきたくこれからお話し申し上げます。

まず、去る1月8日ですが、皆様も報道等でご覧になったと思います。今年のはたちを祝う式典が隣のSG GROUPホール、公会堂で午前午後の2部にわたって開催されました。今年は、参加者が約1,600人。この数は、例年に比べますと200人強少なくなっております。いつもは、1,800人を超えるのですが、こういったところにも少子化の影響が表れていると思っておりました。ただ、式に臨んだ成人の方々の態度を見ますと、大変驚きました。驚いたというのは、立派で驚きました。テレビでは、様々な成人式の様子が報道されておりますが、当市の成人の方々は式辞、祝辞、成人代表の言葉、そういったものが行われましたが、本当に静粛な雰囲気の中で行われたと感じています。こういった様子を見ると当市の子供たちは、確実に健やかに育っているということを確認いたしました。これは、我々八戸市民にとっても大きな財産になるということをおもっております。そういう中で、今小学校中学校の子供たちの様子はどうかというところで本題に入りますが、私が毎日のように報告を受ける中で少々危惧していることが3点ございます。これは、皆様も先ほどのお話の中で触れられている方もいましたが、あえてもう一度私からもお話をしたいと思います。

1点目はSNSを通じたネットトラブル。これが、大変多くなっております。ご承知のとおり、市内の小中学校、教育委員会もそうですが、子供たちにはスマホを携帯させることを推奨はしておりません。ただ、昨今の世の中の流れの中でスマホを買い与えるという親が確実に多くなってきております。買い与えたはいいけれども、そのあとの対応が不十分なのかと改めて強く感じているところです。SNSを通じたトラブルは、誹謗中傷ということだけに関わらず最近はいせつ画像を送信しあう、そういったことが八戸市でも現実起きています。決して都会の話ではなく、市内の子供たちの中には、言葉巧みに誘われて裸の画像をSNSに掲載してしまう、そういったことも実際に起きております。そういったことが、これからますます多くなっていくのかなとひとつ危惧しているところです。

それから2つ目は、薬物の乱用事案ということで、最近はおバードーズという言葉で言われているようですが、いわゆる薬がすごく手に入りやすくなってきている。ドラッグストアとかで、そういうものが身近にあることから子供たちが市販薬などを大量に買って大量に服飲する。そういったものがおバードーズと言われておりますが、数としてはほんの数件しか報告されていませんが、このような情報を子供たちは、ネットを通じてどんどんそれを知ることができる。そういう世の中になっておりますので、このおバードーズというのは、これから大変大きな問題になるのではと考えております。

3点目は、これも最近の傾向なのか、家出事案が大変多くなってきています。家出した子供たちは、一昔前は、八戸市内どこか探せば見つかるというそういった状況でしたけど、今は、ほとんどが東京の方で見つかる。新幹線に乗ってすぐ東京のほうに行ってしまう、そういった傾向がみられます。幸い今日おいでの八戸警察署の方の協力もあって、1日2日で発見されるケースが多いのですが、一番心配しているのは最近ト一横キッズ、そういった子供たちが集まる場所、そこから犯罪に巻き込まれていくというようなケースもあるようですので、そういったものに巻き込まれやしないかと大変危惧しているところであります。

いずれも、今年度の傾向は、現在の中学校1年生の女子が、大変家出事案が多い。大変抽象的にお話しましたが、生徒指導事案というのは、ご承知のとおりその時その時の学年によって波があるのですが、特に今年度の傾向は、中一の女子の家出事案が多いということが挙げられます。そういったことも、これから課題としてとらえて、小学校中学校としっかり連携をしながら、まずは、そういった子供たちの意識を変えていくということも大事であろうし、保護者の方々の意識も変えていくということも併せて必要になってくるのではないかと思っていました。

当市の将来を担う子供たちが、これから健全にたくましく生きていくために皆様方のお力添えを賜りながら進んでまいりたいと思いますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。私からは以上となります。

(竹花会長)

ありがとうございました。

委員の皆さまから、貴重な御発言をたくさんいただきましたが、今までの御発言に対して何かございますでしょうか。

それでは、以上で議事を終了いたします。進行は、司会者に戻したいと思います。

(司会：石澤)

委員の皆様お疲れさまでございました。

以上をもちまして、令和6年度第2回八戸市青少年問題協議会を終了いたします。

本日は御多用のところ、御出席いただきましてありがとうございました。